

## 埼玉県内企業の2020年新卒者採用調査

調査対象：県内企業 547 社

調査方法：アンケート方式（2月中旬 郵送回収）

回答企業：194 社（回答率 35.5%）

業種別内訳：製造業 103 社 非製造業 91 社

### 要旨

○埼玉県内企業の2020年4月の新卒者採用状況は、全産業で「採用」（前年比採用人数の増減にかかわらず採用をした企業、以下同じ）は55.7%と、前年（55.8%）とほぼ同じ割合となった。採用内訳を見ると、採用人数が「減少」とする企業の割合が前年比4.5ポイント減の11.9%に対し、「増加」は、1.6ポイント増の11.3%、「数年振りに採用」も、1.6ポイント増の2.6%となっている。企業の人材不足が続いていることを反映しているとみられる。

○業種別では、「採用」と答えた企業は、製造業が51.5%、非製造業が60.4%となり、採用を行った企業は非製造業が製造業に比べ8.9ポイント上回っている。

○採用者数の充足度について聞いたところ、全産業で「採用計画どおり確保できた」が42.4%（前年38.6%）に止まり、「採用計画に比べやや下回った」と「採用計画に比べ大幅に下回った」の合計が57.6%（同61.4%）と、6割方の企業で採用者が計画を下回る結果となった。採用計画を下回る企業は、製造業が47.6%であったのに対し、非製造業で67.2%に上った。製造業に比べ非製造業の方で採用計画を達成できない企業が多かったことがうかがえる。

### 1. 新卒者採用状況

～採用は全産業の6割弱で実施～

#### （1）全産業

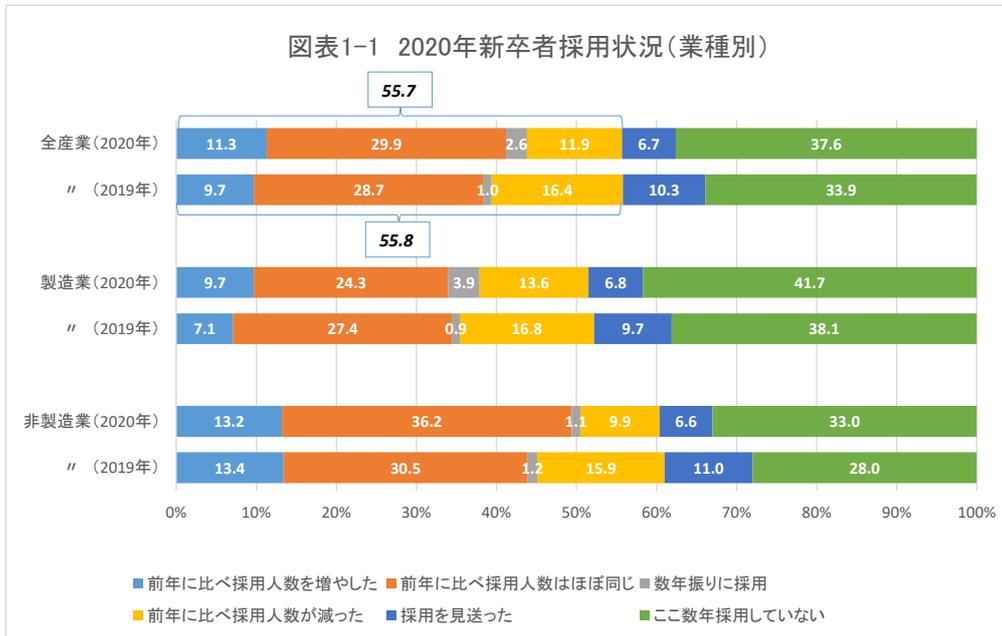
2020年4月の新卒採用状況は、「採用」と回答した企業の割合は55.7%となり、前年（55.8%）とほぼ同じ割合となった。新卒者の採用内訳を見ると、採用人数の「増加」は前年比1.6ポイント増の11.3%、「減少」は4.5ポイント減の11.9%、「ほぼ同じ」は1.2ポイント増の29.9%となっている。「数年振りに採用」は1.6ポイント増の2.6%となった。新卒者採用を行う県内企業の割合は前年比横ばいではあるが、採用人数を「減少」とする企業の割合が減少したのに対し、「増加」、「数年振りに採用」とする企業の割合が増加している。企業の人材不足が続いていることを反映しているとみられる。

一方、「今年は採用を見送った」が6.7%、「ここ数年採用していない」が37.6%で、両者を合わせ44.3%となり、前年（44.2%）とほぼ同じ割合となった（図表1-1）

#### （2）業種別

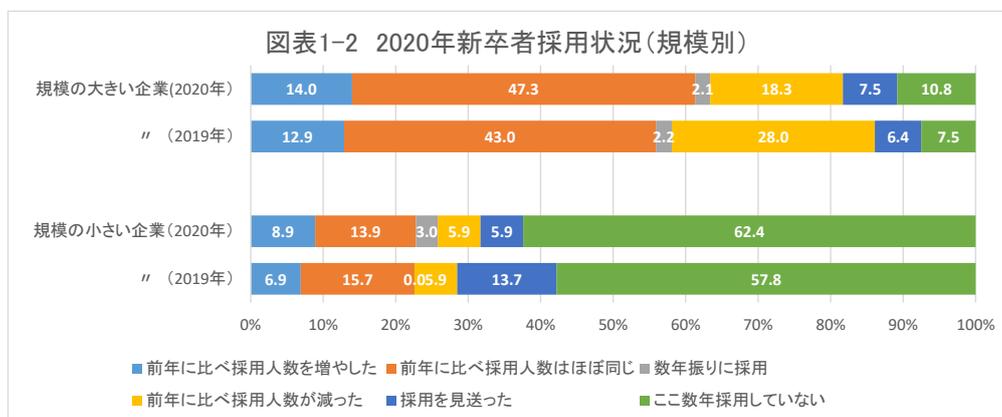
「採用」とする割合は、製造業が51.5%（前年52.2%）、非製造業が60.4%（同61.0%）となり、非製造業が製造業に比べ8.9ポイント上回っている。「採用」の内訳を見ると、製造業では、「増

加」が前年比 2.6 ㊦増の 9.7%、「数年振りに採用」が 3 ㊦増の 3.9%となっている。一方、非製造業では、「前年とほぼ同じ」が 5.7 ㊦増の 36.2%となっている。(図表 1-1)



### (3) 規模別

「規模の大きい企業」では、「採用」の割合は 81.7%で、前年比 4.4 ㊦の減少となった。「採用」の内訳を見ると、「増加」が前年比 1.1 ㊦増の 14.0%、「減少」は 9.7 ㊦減の 18.3%、「ほぼ同じ」が 4.3 ㊦増の 47.3%となっている。「規模の小さい企業」では、「採用」の割合は 31.7%で、前年比 3.2 ㊦の増加となった。「採用」の内訳を見ると、「増加」が前年比 2.0 ㊦増の 8.9%、「減少」は前年と同じ 5.9%、「ほぼ同じ」が 1.8 ㊦減の 13.9%となっている。「規模の小さい企業」は「規模の大きい企業」に比べ、「採用」を行った企業の割合が 3分の1程度に、採用人数の「増加」も 9%未満に止まっている。また、「ここ数年採用していない」と回答した企業も前年比 4.6 ㊦増の 62.4%に上っている。規模の小さい企業は規模の大きい企業より、厳しい採用活動を強いられていることがうかがわれる。(図表 1-2)

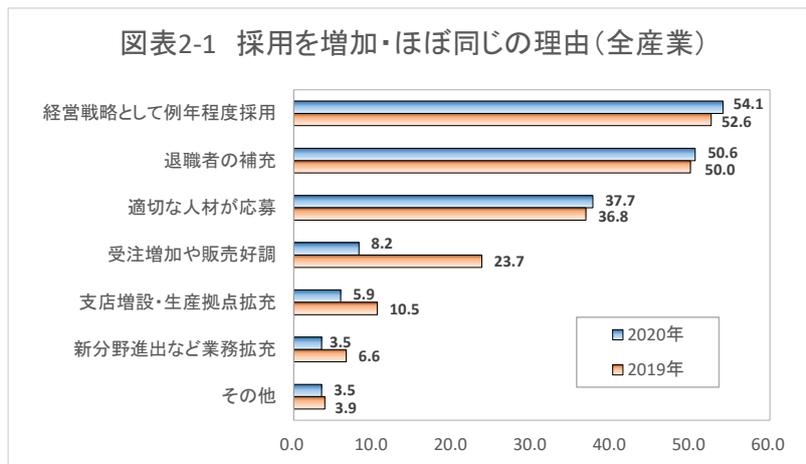


## 2. 採用人数を「前年より増加」または「ほぼ同じ」とした理由

～「受注増加や販売好調」が大きく減少～

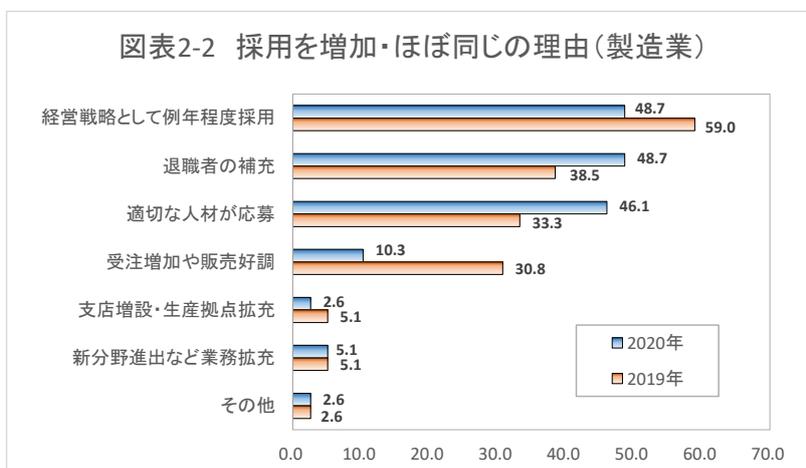
### (1) 全産業

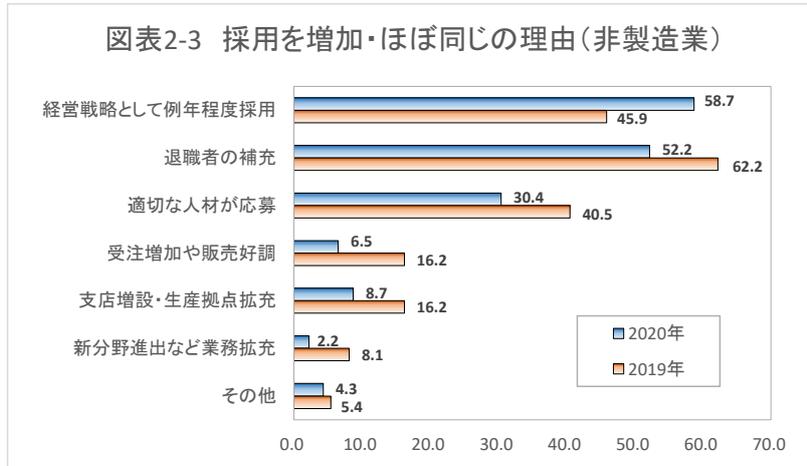
採用人数を「増加」あるいは「ほぼ同じ」と回答した先に、その理由を聞いたところ、「経営戦略として例年程度採用」が54.1%と最も多くなっている。これに、「退職者の補充」が50.6%、「適切な人材が応募」が37.7%と続き、前年と比較して順位に差は見られない。一方で、「受注増加や販売好調」は、前年比15.5%減の8.2%となり、景気の減速感がみられるなか、採用にも影響が及んでいることがうかがわれる。(図表2-1)



### (2) 業種別

業種別では、製造業は、「経営戦略として例年程度採用」、「退職者の補充」がともに48.7%と最も多く、続いて「適切な人材が応募」が46.1%となっている。非製造業でも、「経営戦略として例年程度採用」が58.7%、続いて「退職者の補充」が52.2%、「適切な人材が応募」が30.4%となっている。製造業では、「退職者の補充」、「適切な人材が応募」がそれぞれ前年比10.2%、12.8%増加したのに対し、「経営戦略として例年程度採用」が同10.3%減少となった。一方、非製造業では、「退職者の補充」、「適切な人材が応募」がそれぞれ前年比10.0%、10.1%減少したのに対し、「経営戦略として例年程度採用」が同12.8%増加となった。(図表2-2、2-3)



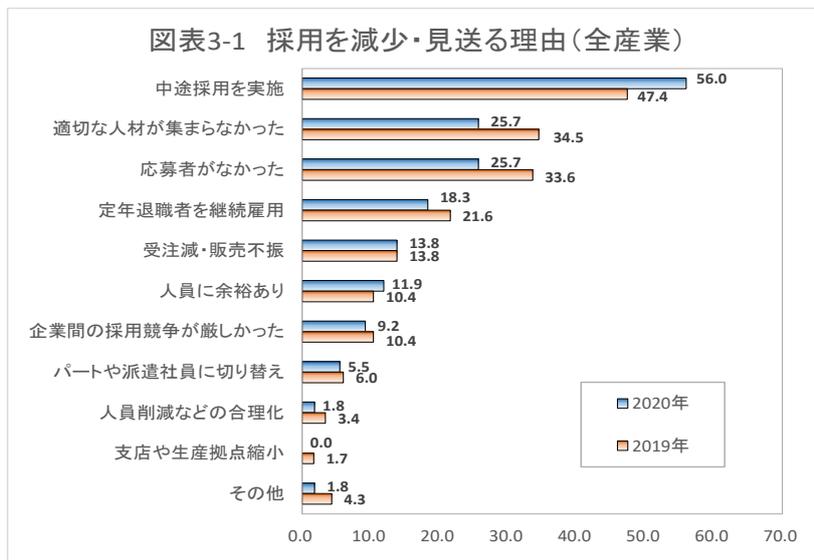


### 3. 採用人数を「前年より減少」または「採用を見送る」理由

～「中途採用を実施」がトップ～

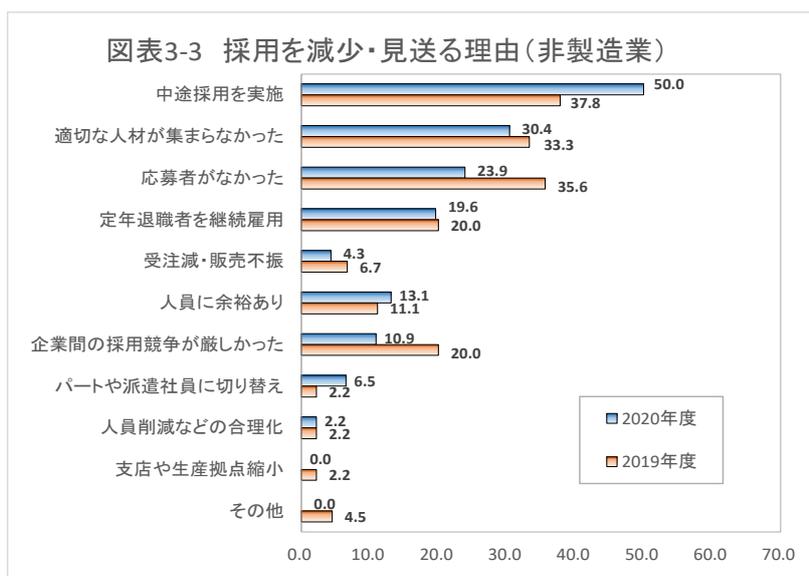
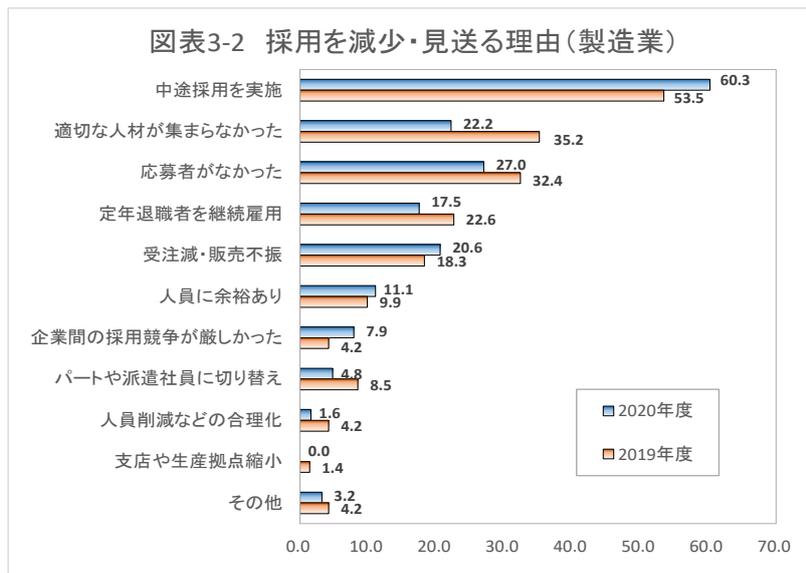
#### (1) 全産業

「採用人数を減少」、「採用を見送った」、「ここ数年採用していない」と回答した企業の理由について見ると、「中途採用を実施」が前年比 8.6 増の 56.0%と最も多くなっている。次いで「適切な人材が集まらなかった」、「応募者がなかった」が 25.7%で続いている。企業全般に、新卒者を採用しにくい状況のなかで、中途採用により人材を確保する傾向が見てとれる。(図表 3-1)



(2) 業種別

業種別では、製造業は、「中途採用を実施」が60.3%と最も多く、これに「応募者がなかった」が27.0%、「適切な人材が集まらなかった」が22.2%で続いている。非製造業は、「中途採用を実施」が50.0%と最も多く、これに「適切な人材が集まらなかった」が30.4%、「応募者がなかった」が23.9%で続いている。「中途採用を実施」が製造業、非製造業ともに最も多いのは、人手不足感が強まる中、新卒者が予定通り採用できず、中途採用で対応していることがうかがえる。(図表3-2、3-3)



#### 4. 新卒採用者数の充足度

～依然として厳しい充足度～

新卒採用者数の充足度について聞いたところ、全産業で、「採用計画どおり確保できた」が42.4%（前年38.6%）に止まり、「採用計画に比べやや下回った」と「採用計画に比べ大幅に下回った」の合計が57.6%（同61.4%）と、6割の企業で採用者が計画を下回る結果となった。

業種別にみると、製造業で、「採用計画どおり確保できた」が52.4%、「採用計画に比べやや下回った」が27.9%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が19.7%となった。非製造業では「採用計画どおり確保できた」が32.8%、「採用計画に比べやや下回った」が40.6%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が26.6%となった。採用計画を下回る企業は、製造業が47.6%であったのに対し、非製造業で67.2%に上った。人手不足が続くなか、製造業に比べて非製造業で採用計画を達成できない企業が多かったことがうかがえる。

規模別にみると、「規模の大きい企業」では、「採用計画どおり確保できた」が46.3%、「採用計画に比べやや下回った」が33.7%、「採用計画に比べ大幅に下回った」が20.0%となった。「規模の小さい企業」では、「採用計画どおり確保できた」が35.6%に止まる一方、「採用計画に比べやや下回った」が35.6%に、「採用計画に比べ大幅に下回った」が28.8%となった。（図表4）

